

町政を問う!!

11 議員が質問・提案を

災害対策本部

避難道の進捗率は

26年度末で50%完成



ふじもと いわよし 議員
藤本 岩義

問 議員になって初めての質問が避難道だった。国道の避難道等も含め、目に見えるようになつたが、各地区から295カ所の要望がなされたようだが進捗率は。

答 松本 情報防災課長

295カ所の要望を精査し現在212カ所の整備計画をしている。そのうち年度内完成予定が106本、50%であり、平成28年度までに208本整備予定で98%、平成31年度までにすべての避難道の完成を目指している。

地域医療

医師不在は
非常事態
緊急課題として取り組む

問 先の議会では、拳ノ川診療所の医師確保を最重要課題として位置づけ対応するとの事であったが、どのような対策をしたか。また、佐賀地域から医師がいなくなる日が迫っているようであるが事実か。事実とすれば、津波以上に不安な毎日を送る事となる。医師不在は非常事態だ。対策チームに決裁権も与え、町出身医師等のネットワークを活用し対策を行う考えはあるか。

答 大西町長

佐賀診療所の医師から年内をもって辞任したいと申し入れがあった。佐賀地域から常

勤の医師がいなくなるという事は、医療体制を考えたとき容認できる状況では無い。今後も関係課長、副町長と協議連携しながら医師確保ネットワークを構築し緊急課題として取り組む。

地方創生

山間地域の
衰退を防ぐ
補助額等は
検討する

問 地方創生事業で財政にゆとりができれば山間地域の水路等の補助率の上乗せができないか。上流部の地域が衰退すれば町全体が衰退する。山間部では高齢化が進み負担金さえ出せなくなっている。地方創世でできたゆとりをその対策に活用出来ないか。

答 武政 総務課長

まち、ひと、しごと創生に係る地方総合戦略の策定が今から始まるので、財源のゆとりができれば検討をする。

支所機能充実

重要拠点の
課を減らすな
統合によって
サービス向上

問 高規格道路「命の道」の延伸や、漁業の不振など対策が急がれているとき、重要な拠点である佐賀支所の3課を2課にすることは寂れ感も強くなり、佐賀地域の住民は納得ができないと思うがなぜか。一課、一系の現状を作ったのは執行部だ。高規格道路対策室等を作り、逆に支所機能の充実すべきではないか。

答 大西町長

現在、町の置かれている現状から提案をしている。人口減少の中、職員減は避けられないものと考え。住民サービスの低下をまねかないよう、統合によって効率的に行う事で、町全体のサービス向上になる。

その他の質問

※情報基盤整備について